

No.



『附属中学校が聖公会林護紀念中学校（香港）を訪問し、交流を行いました!!』

授業体験(美術)をしました！



姉妹校締結式を行いました。



名刺交換を行い、自己紹介しました。



日本文化や、佐賀のおすすめスポット、などについてプレゼンしました。
フリータイムではバスケットボールやバドミントンで盛り上がりました。



《生徒の感想》

- 林護中学校では、社会の授業に参加させてもらい、日本と香港の違いについて議論をしました。英語が伝わらない場面もあり、ジェスチャーで考えを伝えました。コミュニケーションで重要なのは、「言葉」よりも「伝えようとする姿勢」だと感じました。(3年男子)
- 林護中学校との交流を通して、「伝えようとする気持ちの大切さ」を学ぶことができた。実際に英語がうまく話せなくても、コミュニケーションがとれた。知識も大切だが、実践力も大切だと感じた。この経験を学校のみんなにも伝えたいと思う。(2年女子)
- 授業見学では、実際にグループに入って授業を受けた。私が、英語が分からずにいると、林護中の人は色々な方法で私に教えてくれた。そして、理解できた時に笑顔で喜んでくれた。「国は違っても心の温かさは変わらない」と思った。(1年女子)

＜交流を終えて＞

今回の香港交流では、初めて海外へ出たという生徒も多くいて、若いうちに外国の文化に触れることは、生徒にとって視野を広げるチャンスだと感じました。フリータイムでは、バスケットボールやバドミントンをしたり、浴衣を香港の生徒に着せたりと、生徒同士で親交を深めていました。また、附属中と林護中との姉妹校締結も行い、今後も長く交流が続いていくことを願っています。